

アースアキュライザーの活用(14)(HP 収載)

—JBL4350A—

1. 始めに

前報(12)までのアースアキュライザー導入の効果を JBL4350A で確認します。

2. アースアキュライザーEA-1 の試聴計画

アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、Brooklyn DAC+と仮想アース Crystal E との接続と DA-3000 と自作仮想アースとの接続へのアースアキュライザーの導入と AV ドーナッツの使用などを行っています。音源は下記を使用し、それぞれのアースアキュライザーがどのように効いているかを記載します。

アナログ

EMI AA 9117・C

フリードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

*このアナログ再生は、LINN LP-12 から再生し、ZANDEN Model 120 と

Crystal E との接続および Brooklyn DAC+と Crystal E との接続にアースアキュライザーが使用されています。

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

*このアナログ再生は、Garad401 から再生し、Leak Pont1 と共有アースポイントおよび共有アースポイントと Crystal E との接続にアースアキュライザーが使用されています。

CD

Evidence EVCD015

ベートーヴェン チェロソナタ集

フランソワ=フレデリック・ギィ (ピアノ)

グザヴィエ・フィリップ (チェロ)

*この CD 再生は CD ドライブから読み出し、fidata HFAS1-S10→Brooklyn

DAC 経由で再生し、Brooklyn DAC+と Crystal E との接続にアースアキュライザーが使用されています。

STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ（ピアノ）

*この STAGE+再生は PC で再生し、DA-3000 と自作仮想アースとの接続にアースアキュライザーと AV ドーナッツおよび Brooklyn DAC+と Crystal E との接続にアースアキュライザーが使用されています。

3. アースアキュライザーEA-1 の試聴結果

アナログ盤のヘンデルのメサイアは、合唱は力強く、ソプラノは張りがあり、バスはどっしりとして、通奏低音は量感があります。

アナログ盤のワーグナーのワルキューレは、金管やシンバルの輝きが鮮明であり、歌手達の声の張りもありますが、マルチユニットのスピーカーであるため、歌手の定位は甘くなっています。

CD のベートーヴェンのチェロソナタ集は、チェロは滑らかになっており、ピアノは力強く、迫力のある演奏になっています。

STAGE+のベートーヴェンのピアノソナタは、打鍵が鮮やかになり、特に左手の低音のスケール感が、JBL のダブルウーファーならではの迫力です。

4. まとめ

アースの再構成を実施し、ZANDEN Model 120、Leak Point 1、Brooklyn DAC+、DA-3000 と仮想アースとの接続へのアースアキュライザーの導入と AV ドーナッツの使用などを行ってきた効果が、JBL4350A でも認められました。

以上